

農村災害ボランティアだより

【第9号：2017年3月発行】

【平成28年度ボランティア活動状況】

農村災害ボランティアの平常時活動として、施設管理者からの要請に基づき施設管理者に代わり施設の点検を行っています。

本年度は道央・空知2グループが意向調査に基づき2地域で施設の点検を実施しました。結果については施設管理者へ報告を行っています。

道東及び道北グループについては、8月の台風災害により、平成28年度の活動を中止しました。なお、平成28年度までの点検結果については、水土里ネット北海道のホームページに掲載されていますので参照してください。

【<http://www.htochiren.jp/saigai/kyougikaikei.htm>】

グループ名	活動先団体名	点検施設	活動時期	備考
空知	篠津中央土地改良区	排水路1条	H28.8.3	16名参加
道央	当別土地改良区	ため池1カ所	H28.9.9	15名参加



【ボランティア等の登録状況】

平成28年度に農村災害ボランティア12名の方が新規に『農村防災・災害ボランティア活動協議会』に登録されました。

近年、農村災害復旧専門技術者の新規認定者数が減少しています。また、認定者が次の更新を行わないなど更新者数も減少傾向となっています。

平成29年度は、平成30年2月「災害復旧技術向上のための講習」を開催予定しています。積極的な受講をお願いします。

農村災害復旧専門技術者（ボランティア重複）	農村災害ボランティア	合計
79（13）名	143名	209名

◆『農村災害復旧専門技術者』（平成29年2月末時点）

所属	開発局	北海道	市町村改良区	土地連	コンサル ゼネコン	合計
現役	7	22	3	1	13	46
O B	8	17	7	1		33
合計	15	39	10	2	13	79

◆『農村災害ボランティア』（4グループ）

[道央G（38名）～石狩・渡島・檜山・後志] [空知G（40名）～空知・胆振・後志]

[道北G（35名）～上川・留萌・宗谷] [道東G（30名）～オホーツク・十勝・釧路・根室]

【災害復旧事業技術担当者会議を開催】

近年、災害発生への減少に伴い災害経験者が減少する中、大規模な災害が発生した場合、迅速な対応が図られるよう、6月21日（火）～22日（水）の2日間にわたり、道・市町村・土地改良区の職員や災害復旧専門技術者・農村災害ボランティアの方63名が参加し『平成28年度災害復旧事業技術担当者会議』を第2水産ビル会議室において開催しました。

初日は農林水産省防災課災害査定官より災害復旧事業制度や採択条項、災害復旧工法等について説明を受けた後、10のグループに分け過去の被災地区を題材として災害査定実務演習に取り組みました。



【平成28年発生災害の概要と支援活動】

平成28年8月の大雨災害では、被害調査から災害査定まで農村災害復旧専門技術者が、被害額の把握、復旧工法検討の助言や査定設計書作成の助言（査定朱入れ含む）等の各種業務で、延べ約600人日の支援活動を行いました。また、農村防災・災害ボランティアの方々についてもさまざまな形で災害復旧の支援活動をいただき災害査定を終了したところです。

1月風浪災（小清水町）



台風7号災（本別町）



台風11号災（北見市）



台風9号災（日高町）



台風10号災（清水町、南富良野町、帯広市）



【発行・編集】

『農村防災・災害ボランティア活動協議会』

水土里ネット北海道 事業部事業管理課

TEL011-221-2292 Fax 011-221-2258

E-mail : info@htochiren.jp

『農村防災・災害連絡協議会』

北海道農政部農村整備課 防災災害グループ

TEL011-204-5425 Fax 011-232-4128

E-mail : nosei.noson1@pref.hokkaido.lg.jp